

《企画書》

提出者 星野 美和

【タイトル】 『きずなって何?』 ～つながりを整える生き方～

【概要】

本企画は、「きずな」という言葉に違和感があった筆者が、10年ほどかけて見つけた「きずな」の本質について「きずな」の重要性・その役割を解説し、「きずな」で人生が好転することを伝えることが目的です。①目には見えない世界とのつながり、②今、目の前にいる人とのつながり、③つながりを整えるという生き方、この3つのテーマを柱に感覚を磨いて「きずな」と出会う方法を提案し、読者にとって生きやすさを見つけることができる一冊を作りたく企画考案いたしました。

【想定する読者ターゲット】

- ① 20～60代の男女
- ② これからの未来に不安を感じている人
- ③ 友達と呼べる人がいないと寂しく思っている人
- ④ 自分の人生を明るい未来に変えたいと願っている人

【構成案】

第1章 「きずな」って何?

- ・あの世とこの世を結ぶ「きずな」に気づく
- ・今、目の前の人との「きずな」を意識する
- ・つながりを整えるという生き方を始めよう

第2章 なぜ、不安や孤独を感じるのか?

- ・「きずな」という言葉に違和感を感じるあなたへ
- ・不安や孤独の生まれ方を知る
- ・ここから始まる不安と孤独の乗り越え方

第3章 目には見えない世界との「きずな」に出会う方法

- ・感覚を磨く無我状態の作り方
- ・祈りの時間を大切にする
- ・言葉のパワーをお借りする

第4章 今、目の前にいる人との「きずな」こそ重要

- ・目の前にいる人は大切な人ではないかもしれない
- ・意外とできていない身内との「きずな」磨き
- ・目の前の人の方にあるものを見ていませんか?

第5章 「つながりを整える」という生き方

- ・そもそも「友達整理」は必要?
- ・子孫に残したいものは「つながり」や「人脈」
- ・好きな人だけに囲まれる生き方は誰にでも叶う

【サンプル原稿】

きずなって何？～つながりを整える生き方～

第1章 「きずな」って何？

「きずな」という言葉が嫌いでした。

「きずな」「絆」という言葉にずっと違和感を抱いていました。

私は仙台在住で、東日本大震災も、それ以前の宮城県沖地震も体験しています。

これまで生きてきた中で2回の大地震を経験しているのです。

「未曾有の」とか「壊滅的」という言葉を何度も耳にしましたし、地震の後には正直、絶望的な未来しか思い浮かびませんでした。

遠方からたくさんの方がボランティアで炊き出しに来られたり、メディアが取材に訪れたり、著名人が訪問に来たり、これまでに例がないほどに他県からの流入が多かったと思うのですが、その際、訪れた人々が決め台詞のごとく

「絆」

と発信されることに違和感しか生まれてこなかったのです。

おそらく私の住む仙台や宮城の人びとが自ら「絆」と口にすることはなかったのではないかと感じています。

実際に私の住む仙台での書店で「きずな」や「絆」とつくタイトルの本を検索してみるとたくさん本が出ているのにも関わらず、書店に置かれている本がほとんどないのです。

（残っているのは当時の災害記録の写真集などが主になります。）※仙台丸善ジュンク堂では7,000冊近い「きずな」「絆」のタイトルの本の取り扱いがあったもよう。

仙台の書店で「きずな」をテーマに扱った本が手に取られないのは、それはきっと私と同じようにこの言葉に違和感を抱いている人が多いからこそ、なのではないでしょうか。

「絆、きずなって何よ？」

そう思う方が多いのではないのでしょうか。

実際に私は震災前までには気にも留めていなかった「きずな」という言葉が、震災以降とても嫌いな言葉になってしまったのです。

そもそも「きずな」ってなんでしょう？

広辞苑によると

絆とは「馬や犬、鷹などの動物を繋ぎとめる綱」を意味するのだとか。

また、そこから転じて「家族や友人などの結びつき」を意味する言葉、とされています。

絆ってそもそもは「綱」だったんですね。

「綱」の意味だと束縛感が否めませんが、現代では良い意味合いとして「絆」「きずな」が残されているのでしょうか。大切な人との強い結びつきのことを指す言葉として私たちに浸透していますよね。

私は「きずな」という意味を理解できるようになって、私の中で「きずな」という言葉が息づいてきたのを覚えています。

ですが、「きずな」という言葉を受け入れるまでには10年以上の時間を要しているんです。言葉の持つ力、言葉に対するイメージってとても強烈なものがあるなと思いませんか？

・あの世とこの世を結ぶ「きずな」

「あの世とこの世」なんて言うと、急にスピリチュアル系の話？と思われるかもしれませんが、誰にでも思い当たるところがあると思うので、ぜひ聞いてください。

人生が大きく変化する時の前兆として

- ✓身近な人の死に直面した時
- ✓お金が底をついた時
- ✓大病を患った時

このような事象が起きるときだという話を耳にしたことはないですか？

< サンプル原稿以上となります。どうぞよろしくお願いたします。 >